

2011-1-6

ふじさわ・九条の会ニュース



NO.22

発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 斎藤隆夫 0466-35-7104

Eメール fujisawa9jo@infoseek.jp HP <http://fujisawa9.hp.infoseek.co.jp/>

2011年は、憲法9条を活かした 地域外交・平和外交を進めさせよう！

昨年は、日本の外交をめぐる問題で、様々な出来事が起こりました。

尖閣列島での中国漁船による体当たり問題
ロシア大統領の北方領土訪問問題
北朝鮮による、韓国への砲撃問題
更に韓国との竹島領有問題があります。

こうした問題が起こるたびに、日本の外交のあり方、憲法9条改正問題が問われます、民主党、菅内閣は、もっと積極的な平和外交を進めるのかと思いきや、自民党政権と変わり映えのしない外交を進めています。

こうした中で、今年の、わたしたち「9条の会」の運動は、「憲法9条の改正に反対する」という運動と合わせて、「憲法9条を活かした積極的平和外交をもとめる」と言う運動も進めてゆく必要があるのではないのでしょうか。「武力を持って国を守れ」という改憲論者に対して、「9条を活かした話し合い外交で、日本の平和を守るべきである」と言う私たちの意見を対峙してゆく必要があると思います。

① 尖閣列島問題

中国の「尖閣列島は台湾の一部であり、日本が台湾領有時に併合したものであり、台湾返還と同時に尖閣列島も返還されるべき」という主張に対しては、日本の侵略によって得た台湾と尖閣列島は別であり、歴史的にも、国際法上も尖閣列島は日本の領土であることを、中国にも、世界各国にも日本の立場をもっと強くアピールする必要があります。いたずらに周辺海域の防衛力強化などと言って自衛隊派遣などを行えば返って事態を複雑にすることとなります。

尖閣列島問題は、周辺海域に海底油田の存在が明らかになって来てからクローズアップされてきた問題ですが、海底油田の領有権を巡って各国が対立した北海油田の様に、共同開発の線で決着をつけた前例なども参考に、話し合いで、解決すべきです。

②、竹島問題

竹島問題も、「日本の韓国併合時に一緒に併合されたもので」と言う韓国の主張に対し、竹島は日本の韓国併合問題とは別であり、歴史的にも日本の領土であることを内外に明らかにし、話し合いで解決すべきです。

③、北方領土問題

歴史的に、千島列島は武力でロシアから奪い取ったものではなく、ロシアとの話し合い、条約で日本の領土と決められたものです。戦後処理でソ連に割譲すると決めた米ソのヤルタ協定やサンフランシスコ平和条約が問題です。これらの国際条約を盾に、千島はソ連のものとなったと言う主張に対し、そのような不当な領土割譲の戦後処理は正されるべきであることを、ロシアとの交渉に際しても強く主張すべきであり、また、サンフランシスコ平和条約に調印した連合国各国に対しても日本の立場を主張すべきです。

④、北朝鮮問題

拉致問題は日朝問題ですが、核保有問題、ミサイル問題は、国際的な問題です。現在、6カ国協議が行われておりますが、日本は、「ぶち壊し役」などと悪口を言われない様に、こうした場で、もっと9条を活かした話し合い外交を進めるべきです。
(文責小林麻須男)

平和の輪をひろげる 湘南・江の島会議

～核兵器のない平和な世界を目指して



この会議は、11月27日・28日藤沢市制70周年記念事業として開催されたもので、27日は全体会議で基調講演のあと、田上長崎、秋葉広島、竹内枚方各市長の特別講演があった。田上長崎市長は

- ① 真実を伝える・・・核技術や国家の論理に矮小化しないで人間の立場に立つ。
- ② ズレを正す・・・核兵器を持ってい国や政府やリーダーたちが間違った方向に行こうとしたときは「それはちがう」と抗議する。
- ③ 一步先を示す・・・次はこれ、次はこれというように「核兵器禁止条約」を目標に。
- ④ 力を集める・・・広島・長崎だけでなく人類全体の問題としてネットワークを広げる
- ⑤ 諦めない・・・ゴールを示し続ける。言い続ける人になろう

と発言された。

秋葉広島市長は

「今、世界では国連レベルや都市・自治体・市民・NGOレベルでは2020年までに核兵器を廃絶するために努力するという立場にたっている。しかし全く別の考えで動いている国家レベルが問題でこれを正さなければならない。都市、自治体、NGO、市民に国境はなく、これらが国境を超えた連携をし、運動を広げることで国家レベルの考えを正して行くことが出来る。「湘南・江の島会議」はその意味でも画期的な集会である。また活動の多様性こそがエネルギー

の元であり、この多様性を生かす力が大切である。そして、大事なところでは一緒に行動することが必要だと考える。」と発言された。

神奈川県では、34自治体はすべて非核平和都市宣言をしているが、そのうち22市町村の代表が集い、「湘南・江の島 かながわ自治体平和アピール」を発信。28日には市民・NGOや子ども達が会議を開き「湘南・江の島 市民・NGO平和アピール」「湘南・江の島 子ども平和アピール」が発信されました。(斎藤隆夫)

田上市長の「決してあきらめない」 秋葉市長の「伝えれば伝わる」

という言葉に、勇気を頂く

松本 和美

11月27日に開催された「平和の輪を広げる湘南・江ノ島会議～核兵器のない平和な世界をめざして」に参加しました。8月9日の平和祈念式典では毎年、田上市長の感動的なメッセージを、テレビを通して聞いているので、田上市長のお話をぜひ、聞きたいと思いました。田上市長も広島の秋葉市長もとてもすばらしいメッセージを送っていただきました。その中で特に印象に残ったことを伝えたいと思います。

田上市長「私たちは原爆の体験を共有できないが、核兵器をなくそうという思いは共有できる。核兵器は人類が持つてはいけないもの。それを持つてしまった。なくすにはどうしたらいいか、その知恵が求められている。核兵器を地球上からなくす日がくるまで『核兵器をなくそう』といい続けたひとりになろう。」

秋葉市長「核兵器廃絶の運動はイデオロギーでも政治活動でもない。全人類がかかわる運動である。今、市民（そして都市、市長）の出番である。市民が核兵器廃絶の先頭に立つ。国と国が手を結ぶと軍事同盟になるが都市は武力を持たない。都市と都市は国境を越える。姉妹都市から核兵器廃絶都市宣言を呼びかけよう」

そして、田上市長の「決してあきらめない」秋葉市長の「伝えれば伝わる」という言葉から核兵器廃絶を目指し、憲法9条を護運動をしている私たちは大きな勇気を頂きました。

12月8日開催

不戦のちかい 平和行動



昨年の12月8日の「不戦のちかい 平和行動」は、11月末に藤沢市

が主催した「湘南・江の島会議」で市長が核兵器廃絶と平和について訴えることになっていたため、市長はじめ市議会議員全員に参加を呼びかけました。残念ながら共産党の3議員と呼びかけ人の植木議員のみの参加でしたが、参加者65人で700組のチラシセットを配り、藤沢合唱団、津軽三味線の中田誠さん、そして九条バンドの皆さんの演奏の合間に、15人の市民と市議会議員のスピーチで師走の街に武力に拠らない平和の大切さを訴えました。(島田啓子)

12月11日

六会九条の会 5周年集会

六会・九条の会は12月11日、「発足5周年のつどい」を六会市民センター会議室で開きました。



多忙の中、かけつけてくれました酒井代表世話人のあいさつではじまり、1部は、核爆発の危険を告発するDVDなど2本の鑑賞と、斉藤さん(ふじさわ・九条の会事務局長)の「タネもしかけもありあり」の手品。これには、会場が大爆笑の連続でした。

2部は、ふるさとまつりに展示しました4つのパネルの解説と懇談会。初参加して入会を決意した人、他地区の9条の会の報告などいろいろ

発言があり、交流が深まりました。

3部は、会計報告や活動計画などを討議して役員を選出しました。1部～3部とても盛り上がった「発足5周年のつどい」でした。(上浦)

江ノ電沿線九条の会

井上ひさしさんを偲んで

私たちは12月4日(土)、13回目の集いを開きました。急逝された井上さんを偲んで、『子どもにつたえる日本国憲法』『わたしは水です』など4作品とペリデウス夫人の詩1編を、会員の10名で群読しました。読み手は皆素人ばかりで、特に5年生の女の子の素直な声加わってくれたことで、新鮮なパワーを感じさせてくれました。

参加者の石井さんは「今回の企画は手作り良かったと思います。群読もみなさんの練習の成果を発揮したと思います。特に井上さんの詩の群読は印象に残りました。」

その後の全体集会も円卓式で皆の顔が見えてよかったです。今回は腰越九条の会の方が参加されましたが、もっとおおぜいの会員が参加すれば幅広い意見や要望が企画に反映されると思いました。『子どもたちの未来のため』次回の企画を楽しみにしています。』と感想を寄せてくれました。(折原美智子)

11月3日 湘南台九条の会

四周年の集い

11月3日(文化の日)に湘南台公民館で、「湘南台九条の会、四周年の集い」が開催されました。冒頭、保坂さんのアコーディオン伴奏にて「里の秋」などの唄を合唱しました。

第1部は、活動の経過報告と会計報告が行われ承認されました。経過報告では、「毎月行っている「九の日宣伝」が、新かながわ新聞の7月11号で写真入りで紹介されたことが報告されました。第二部は

①、会員の小林賢一さんより『少年飛行隊時代の体験』が語られました。14才で志願したこと、隊の中でしごかれたこと、特攻隊に編入されたが出撃直前に終戦になったこと等が話され

ました。

②、代表世話人稲葉尚範（浄土真宗 恵光寺住職）さんから、『宗教と平和』についてのお話がありました。宗教者は絶対に武器を持ってはいけない、自分も宗教者九条の会の会員である。など、熱を帯びた話は出席者一同に感銘をあたえました。

③、また、「どうする安保」のビデオを見ました。

④、最後に、懇談の時間をとりましたが、沢山の方々より、沖縄普天間吉夫問題、平和と九条などについて意見や感想が相次ぎ、盛大な集会となりました。（上野）

善行地域で

「九条の会」のちらし配布 4000枚

11月20日秋晴れの日の午後、善行団地と善行1, 2, 3丁目の各戸に、「ふじさわ九条の会」のちらしを約4000枚投函して歩き



ました。この日のために集まった人数は22名、

大庭ニュータウンの団地、藤が岡周辺に続いて3回目の大がかりなポスティング行動です。

藤沢市内には既に、江ノ電沿線、湘南大庭、湘南台、辻堂文化、六会、明治地域、藤が岡周辺の7つの九条の会が出来ていて、連携しつつ独自の企画で行動しています。

この度、善行でも、「九条の会」の内容をわかり易くまとめたちらしを配布しました。憲法九条の大切さについて、今あらためて考えて頂きたいとの思いによる行動です。

団地には、約2400世帯分のポストがあり、周辺の住宅には「坂の町善行」の名のおお結構坂道があり、戸別のお宅にも階段があったり

でしたが、約2時間位で皆元気に団地の集会所に戻って来られました。

お茶とお菓子で一休みした後、今日集まった善行周辺の人たちを中心に、一度集まって話し合うことを決めました。今後話し合いを重ね、熟成した善行九条の会が早く出来るとよいと思っています。（岡村孝子）

＜今後の主な日程＞

2月に安保問題学習会開催

先に台風のため中止となった「安保問題学習会」を下記のとおり開催することになりました。

と き 2月15日（火） 18:30～
ところ 藤沢産業センター 6階 研修室3
講 師 菊谷節夫さん
（神奈川県平和委員会理事長）

今年の6周年記念集会

5月14日

講師 渡辺治氏に決定

集会後、パレードを行います

会場 2011年5月14日（土）
市民会館小ホール 14時より
講師 渡辺 治氏。
講演会は全体で1時間30分以内。
音楽関係、パレードにふさわしいものを企画。
パレード 今年も、集会の後、市民会館から藤沢駅周辺までパレードを行う

1月の「9の日行動」は成人の日

1月10日 江の島水族館です。

成人式参加の若者に「九条のしおり」を配りたいと思います。

今年の成人式は「江の島水族館」です。成人式の受付は午前10時です。

そこで、「ふじさわ・九条の会」の行動は

集合時刻：1月10日（月）9:30

集合場所：水族館入り口前までお集まり下さい